

ムスリム&ベジタリアン対応レシピコンテスト ～国籍を超えたフレンドリーなモデルシティを目指して～

Halal dish contest for the sake of friendliness in Hachioji city with Muslims and Vegetarians

- Moving forward to friendly community beyond nationality -

グループ名：「前田ゼミ 多文化共生グループ」
小山朝陽¹⁾、箕浦葵¹⁾、若田部健太¹⁾、家田智美¹⁾
指導教員 前田幸男¹⁾

1) 創価大学 法学部 法律学科 前田幸男ゼミ

キーワード：ムスリム, インバウンド, ハラル, 料理コンテスト, 観光

1. イントロダクション

日本へのインバウンドは、新型コロナウイルス感染症拡大以前まで増加傾向にあった。これまで東アジアからの観光客が多かったが、近年では東南アジア地域からの訪日客数の伸びが著しい。特に、インドネシアやマレーシアは、人口増加や経済発展が著しく、生産と消費の急速な拡大が見込まれている市場である。

2. 現状把握

特徴的なのは、これらの国では広くイスラムが信仰されている。しかし、それら地域と日本とでは、生活様式や文化に多く違いが見られる。よって、コロナ禍収束後も増加すると予想されるムスリム訪日客にとって快適な体験を提供することで、よりインバウンドを促進させることができるのではないかと考えた。

3. 現状分析

八王子の高尾山には 2018 年に約 23,000 人の外国人観光客が訪れており、今後も観光客が増えると考えている。また八王子市の外国人住民の総数は 2020 年 7 月時点で、13,256 人である。総数は前年同月と比較して、1,231 人増加している。国別で見ると、中国、韓国、フィリピンの割合が大きい。よって、イスラム圏から来る外国人数は少ないことが分かる。

この点について、八王子市内にはモスクやハラル対応のレストラン、業務スーパーがあるものの、例えば群馬県館林市の場合、5つのモスクがありムスリムコミュニティの管理体制が整っていることなどと比較すれば、八王子市のムスリム対応に関しては改善の余地があると言える。

4. 課題

ムスリムのインバウンドを増加させるために最も解決すべき課題は、食に関する問題であると考えた。八王子市には依然としてハラル対応のレストランを可視化する取り組みやハラル料理を提供している場所が少ない。これらの原因は、ハラルへの理解や知識不足、ハラル料理を設置するきっかけがないことが考えた。以前、富山県や沖縄県ではベジタリアン&ムスリム対応レシピ開発コンテストが開催されており、市民がハラルの理解を深める場があり多文化共生を推進していたことが参考になる。

5. 提案内容

以上を踏まえ、私達はムスリム観光客の受け入れ態勢の向上を目的とした、「ハラルレシピコンテスト」を提案する。

本コンテストについては、主催を八王子市と八王子市観光コンベンション協会として、共催を八王子国際協会と「道の駅 八王子」、そして八王子

市に位置しイスラムの礼拝所である「八王子アウタウヒードモスク」、そして協賛として八王子市産業振興部観光課に参画して頂き、当課のHPなどにイベント模様を掲載してもらい、参加団体の周知に協力して頂きたい。選考プロセスとしては、1次選考は SNS 等を通じたフォトコンテスト形式で行い、最終選考を実地で行うことが望ましいと考える。これは、コスト削減や新型コロナウイルス対策の観点から有益であると思われる。以下、コンテスト内容を概観する。

●部門

- ・ベジタリアン部門
- ・ノンポーク・ノンアルコール部門
- ・スイーツ部門
- ・お弁当部門

●参加資格

- ・八王子市内の飲食店・宿泊施設等、食品メーカー、料理学校の学生等（国籍を問わず）
- ・入賞商品を商品化して販売又は複数店舗で提供できること

●応募条件

- ・提供価格の想定上限は1名あたり2,500円
- ・求めるハラル対応基準は「一次原料まで」とする
- ・八王子産の特産物を少なくとも一つは用いる事（特産物の提供は「道の駅 八王子」より行う。また、ハラル認証肉については市外・国外製品の使用を認め、その肉の提供は主催より行う。）
- ・応募者は複数作品の応募が可能

●選考基準

- ・ハラル対応を遵守している事
- ・八王子市の特産物を創造的に使用している事
- ・斬新性に富んでいる事

●審査員

- ・八王子市当局職員の方々
- ・「八王子アウタウヒードモスク」代表の方
- ・「道の駅 八王子」併設のフードコート、カフェ、惣菜コーナーに勤める従業員の方々

●賞品

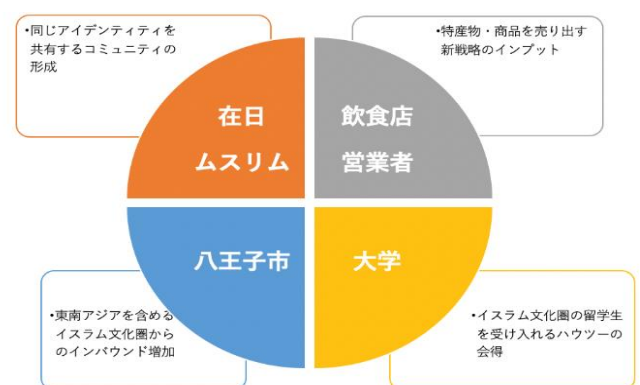
- ・グランプリ作品：「道の駅 八王子」にて期間限定メニューとしての採用特典

- ・準グランプリ：ハラールミート（牛・鶏）計5kg
- ・優秀賞：ハラル調味料（醤油・味噌など）計3kg

応募者は、単に賞品が欲しいというだけでなく、自社の商品化への布石にしたい、自社商品のPRをしたい、ムスリムの舌に合う味か確認する機会にしたいなど、様々な動機の下で応募する事が予想される。今回は、50件程度の応募を目標とする。

6. 提案が及ぼす効果の見込み

本提案を実施することで八王子市を基盤とした下記の図にある通りの効果が上がると考える。



7. 参考文献

- 株式会社三井住友銀行(2019)「訪日外国人旅行者(インバウンド)の動向」
https://www.smbc.co.jp/hojin/report/investigationlecture/resources/pdf/3_00_CRSDReport061.pdf
- 公益社団法人八王子観光コンベンション協会(2018)「観光はちおうじ」
https://www.hkc.or.jp/pdfs/kaiho_h3001.pdf
- 東京都総務局統計部(2020)「区市町村別国籍・地域別外国人人口(上位10か国・地域)」
<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/gaikoku/2020/ga20gf0100.pdf>
- 東京都総務局統計部(2018)「区市町村、国籍・地域別外国人人口」
<https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/gaikoku/2019/ga19ef0300.pdf>
- 2020年10月15日一般社団法人ハラル・ジャパン協会佐久間 電話インタビュー
<https://docs.google.com/document/d/lcCaFR2nzp8dqRPMddJLNxQ22ct1fqs9dWmGiltRWnjc/edit>